

コープ東北サンネット事業連合

限界はつくらない、
お役立ちのために全力で向き合おう
コープふくしまへの仲間づくり支援活動



より多くの人に参加してもらうためにはどうしたらよいか。毎日、活動後には打ち合わせが行なわれた。

コープ東北サンネット事業連合に加盟するコープあおもり、いわて生協、コープあきた、秋田県北生協、生協共立社、そして、みやぎ生協。各生協は、2012年2月5日から1週間、計22人の「仲間づくり支援スタッフ」を同事業連合加盟のコープふくしまに送り、仲間づくり活動の支援を行なった。

原発事故で 仲間（利用者）が減った コープふくしまへの支援活動

東京電力福島第一原発事故によ

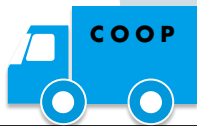
り、福島県内では多くの人が、福島県内外への避難を余儀なくされた。それに伴い、共同購入（宅配）の利用者は激減。コープふくしまでは、県内の避難所で新たな生活を始めた方々に、生協としてお役に立てることがないかお声掛けを行なったほか、2011年の夏には全国の生協から仲間づくり支援スタッフによる活動支援も受け、利用者数の回復を図ってきた。

しかし、夏休みを機に、小さな子どもがいる家庭



夜遅い時間にもかかわらず、熱心に引き継ぎを行なう仲間づくり支援スタッフ。

などの県外避難が急増。回復基調にあった共同購入の利用者は、夏休み期間だけで約1,000人減るといふ事態に見舞われた。そうしたコープふくしまの現状を



「放射能学習会」で講師を務めた、コープふくしま専務理事の野中俊吉さん。

支えようと、コープ東北サンネット事業連合（以下、サンネット）に加盟する生協では、12年2月5日から6日間、計22人の仲間づくり支援スタッフをコープふくしまに送り、支援活動を行なった。

福島県と東北の他県との震災被害の違いといえば、原発事故の影響の大きさだ。食品に対し敏感になっている住民とコミュニケーションをとる際、放射能に関する知識は不可欠だ。そのため、コープふくしまでは仲間づくり支援スタッフが到着した5日に「放射能学習会」を開催した。なおこの場では、仲間づくりトークの際に、誤解や不安を与えないためのレクチャーも行なわれた。

それに加え、仲間づくりの後方支援として「ワンコインおためしキャンペーン」を実施することを決めた。これは500円で、サンネットの提供するコープ商品7品（ハンバーグ、



サンネット・共同購入運営本部 課長 加藤剛昌さん

ロールパン、エビフライ、讃岐うどん、豆腐、たこ焼き、水餃子、合計で2,500円相当を試せる新規加入企画。新聞の折り込みチラシで宣伝し、興味を持った人のところに支援スタッフが足を運ぶことで、仲間づくり活動の推進を図った。

最後は、「役に立ちたい」という情熱で

郡山支部での仲間づくりを取材した。朝から夜まで郡山市周辺を回り、支部に戻ってきた支援スタッフによるミーティングが始まったのは、夜の8時。「その日、どのように動いたのか」「どんな反応があつて、何を感じたか」について話し合いが行なわれたが、そこには妥協を許さぬ空気が漂う。

郡山支部では、みやぎ生協・石巻支部拡大課長の田松忠明さんが中心

となり、「その動き方では無駄が多い」「午前中うまく結果が出なければ、午後を期して修正しなければいけない。そのままのなんとなく不調の1日だったと終わらせないよう」など、経験に基づくノウハウを支援スタッフに伝授。田松さんは、

「成果を残すのは自分たちの使命です。この成績で終わってほしくない。数字を追う姿勢を持ってください。現場で仕事しながら一生懸命アポイントメントを取ってきてくれた配達担当の頑張りに応えて、成果を出して、それをバトンタッチするのはわれわれの役割です。気持ちを入れて頑張ろう！」と鼓舞し、現場の緊張感を高めていた。

「コープふくしま史上最高！1週間で520人達成」

2月10日まで続いた仲間づくり活動は、コープふくしま史上最高の1週間当たり520人加入という数字をたたき出し、終了した。520人中203人は、仲間づくり支援スタッフの成果だ。サンネット・共同購入運営本部課長の加藤剛昌さんは、

「コープふくしまの通常週の仲間づくりは、1週間当たりの加入平均が

200人程度ということからすると、今回の520人という数字がいかにすごいかが分かります。また、期間中のコープふくしま仲間づくりスタッフの実績が317人としたことからも、仲間づくり支援に来ていただいた方々の存在が、どんなにコープふくしま職員の力、励みになったかを表していると思います。今後長きにわたって被災者支援を続けていくための力を、コープふくしまはもらったのだといえます」と話していた。

「お役立ち」のために全力で向き合う。そのことを確認し合い、互いに支え合った今回の支援のあり方は、多くの職員にあらためて、日々の業務の意味は何かということを考えるきっかけになったに違いない。

DATA

コープ東北サンネット事業連合の基礎データ

会員数：東北6県 7生協

職員数：188人（パート・アルバイト・嘱託86人）

供給高：769億6,100万円

（2012年3月20日現在）